

重要

各ご家庭で保管願います。
令和7年 6月10日発行
令和8年 1月16日改訂

『大津波警報』等発生時対応マニュアル

1. 『大津波警報』『津波警報』発生時の避難場所と児童引渡し場所

* 警報の種類に応じて、学校では次のような避難行動を行います。

★一時避難場所 …… 津波が引くまで避難する場所です。

警報の種類	津波の高さ	一時避難場所
大津波警報	◎高い所で3mを越える高さ	校舎3階及び屋上へ垂直避難
津波警報	◎高い所で1mを越え、3m以下の高さ	

* 「一時避難場所」「児童安否状況」の情報は「[さくら連絡網](#)」「[災害用伝言ダイヤル](#)」でご確認ください。

★児童引渡し場所 …… 保護者の皆様にお子さんを引き渡す場所です。

引渡し場所	備考・お願い
静内小学校 ◎職員玄関付近	* 事故発生未然防止、車での混雑解消のため、職員の指示に従ってください。

- * 児童の引渡しは、津波警報が解除となってから行います。お迎えのお願いは「さくら連絡網」で行います。
- * ご家族、もしくは親族の方が見えられた場合のみ、お子さんを引き渡します。お友達のお子さんについては基本的には引き渡ししません。【ただし、該当児童の保護者から連絡があった場合には別とします。】
- * 「児童安否状況」「児童引渡し場所や引渡し時間」の情報は「[さくら連絡網](#)」「[災害用伝言ダイヤル](#)」でご確認ください。

★校舎への進入の仕方と子どもの引き渡し方について

①校舎内には右折で入ってきてください。	②児童玄関前で職員にお子さんの学年と名前をお知らせください。	③職員玄関付近にて、お子さんを引き渡します。	④敷地内からは、右折で出てください。
---------------------	--------------------------------	------------------------	--------------------



【お願い】

◎災害発生時には、冷静さを失うことがあります。通行方向を必ず守っていただき、職員の指示に従い、安全な運転を心がけてください。

2. 「一時避難場所」及び「児童引渡し場所」における対応

- *地震・津波は寒い日や雪の日に発生することも十分に考えられます。
秋・冬中に避難行動を要する場合には次のことに留意します。

- ★低温の日に一時避難場所に向かう場合、ジャンパーなど体温を下げない服装をさせます。
- ★屋上に避難した場合、雨天時には、傘などの雨具を使用し、体温を下げないように注意をはらいます。

3. 登下校時の津波注意報・警報発令時の対応

■登校する前

- 津波注意報・警報発令中→ **登校しない**（自宅待機・家族で安全な場所へ避難）
- 津波注意報・警報解除 → 学校から始業時刻の変更または臨時休校等の連絡をします。

■登下校中（徒歩・車での送迎）

- 津波注意報・警報発令→ **安全な場所（できるだけ高い場所）に避難**

- 1 学校が近い → 学校もしくは高いところへ
- 2 家が近い → 家もしくは高いところへ（家族で避難）

※各ご家庭で登下校時及び帰宅後1人である時にどこに逃げるのか確認してください。
※自宅が海に近い場合は、基本的に学校に避難します。

登校時は

1人で家にいる時は

に逃げます。

- 3 車での送迎中→ 学校もしくは家（運転手の判断）

■登下校中（スクールバス）

- 津波注意報・警報発令→ **安全な場所（できるだけ高い場所）に避難**

- 1 バス停、自宅⇄バス停にいる時 → 家もしくは高いところへ

※各ご家庭でどこに逃げるのか確認してください。

に逃げます。

- 2 スクールバス乗車中 → 乗務員の指示

4. 学校と家庭との緊急連絡システム【災害用伝言ダイヤル】

- *児童の安否、児童の引渡し等についての連絡は、「さくら連絡網」で行います。
- *「さくら連絡網」使用不可の場合は、「災害用伝言ダイヤル171」を通じて、学校と家庭間で連絡をとることにします。

★避難場所と児童の安否、津波が引いた後の児童の引渡しについて録音しておきます。

「171」*伝言の再生方法

- ①「171」をダイヤルする。 ガイダンスが流れます。
- ②再生「2」を押す。 ガイダンスが流れます。
- ③学校の電話番号を入力 静内小学校電話番号 0146-42-1561
ガイダンスが流れます。
- ④「1」を押す。 ※ダイヤル回線の場合はダイヤル不要です。ガイダンスが流れます。
伝言の録音内容を確認します。